

卷之三

平市白銀社
發行局 等城日報社
電話(呼)一〇八八零
編者發行人後藤幸夫
印 制人丸山德平
每週水曜日休刊 諸讀者
一ヶ月三十回一部

大谷武雄
諸橋国松
尙組合長並に専務は
から互選されるが組合
現組合長の諸橋久太郎
務には諸橋敬一郎氏が
される筈

を聞かず再び交渉を継続し、船を工場に賣却してそれを支てるうち、雨もあがつたのの賣上金で漁師の資金を支へ、所長は戦災復興事務所に拂つたなどという悲劇さえ絡み、三十米道路に全員をかもし出されてるが、小名瀬は約七十の船主十五船主が操業を中止しており、今後この状態が續けば瀬は火消いいたような淋れ方にならぬ。

立寄り販賣知りなのを省く、自転車を貯て、乗車料を以て、
に「南町丸舟旅館に置く、時價一万三千圓を乗り逃
石鹼を持つて來るから、したのを平市署に御用

ユニバーサルミシン
全廻轉
セントラーミシン
代表的輸出品
特種ミシン修理
代理店
東北
大庭
平市
商會
560
電
目
丁
一
市

平野健郎氏は二十日宮衛生課から赤痢等傳染病の續發にかんがみ今後これが未然防止をはかるためキヤン指導並にこれが坂締に關する指令があつたので近く關係

中の中のボンクラを閑時閑時不衛生並に對しては營業停止等の嚴重な處分を行う方針でありまた投り患者發生等に違反せぬ様注意されたりと同所は語つてゐる

(監事) 萩原義雄 六四葉
去る十九日上野發午后三時

貸付資金として給付する
の當當が來たので來自
日迄に希望者に貸付

る
方三十
草野村 大字原高野
○農鈴木久義さん(今二十一日午前零時を被
米一俵、大豆三斗の下足袋一足など計

草野、大浦等に怪盜出
手北原一來た拘にらず日頃の
四四〇方で時頃土藏前の大英圖書の三十日迄大英圖書
五升一玄て全商品に一割引を
の外新地ております好評を博して

没 得意 決算 もつとを 斷行し いる

には
物を
ませう

平素相來前田

傳明候補應援のため

參議戰も中盤戦に入つて舌子呴するなお傳明氏は二十戯はいよ／＼たけなはとな四日公會堂での立會演説にて來たが前首相芦田均氏出席不可能の場合は街頭では全國候補鈴木傳明氏後援演説するという事である。そのため二十三日午後來平獅

選定改員後行組

平信用組合では二十日午後二時から組合事務所で總代會を開き二十五年度事業計

書畫、二十四年度貸借對照表	諸橋久太郎	八五票
剩餘處分の後役員改選を行 い次の如く決定したが目下	猪狩庄平	八三票
千葉醫大中山外科に入院中	山崎與三郎	七三票
の吉田壹代治氏は三票の差	野崎滿藏	七二票
	關内正一	七一票

（本件）
縣高崎市岩松町一九一櫻
井某子（18）双葉郡津島村
大字上津島二〇松本某子
（16）の三名で
昨年家出轉々として万引、満
窃盜等悪事を働き續け、満
山は昨年二月二万六千圓を所
持して家出、櫻井は昨年
四月初旬家出熱海町ニユー
熱海ダンスホールに一ヶ月
住込みこの際客から六千圓
在中の財布を窃取、沼澤家
と拒否したが労働者側はこ
突きたされた

相當時を盗まれたが平地區署
では犯人の足跡から見て全
人の仕業ではないかと目下
捜査中

川又商店の

大奉仕

平市白銀町川又商店では吳定鈴木徳一(三)は平市紺屋町五八菓子商鈴木徳さんを
車類が尻上り氣味となつて

さく廿日午前十時頃住所不
自轉車乗逃げ御用

か一時はサイレン迄鳴つた
こだつから火を出し燥して全
たおしめ四、五枚を焼いた
ので大騒ぎした

